

# KADAIGEST 2023 1



①



②



③



④

① 医学部祭の出し物でスーパーボールすくいをしました ② ジャンル Lock のチームが踊る直前 ③ 一年生が部活を代表して医学部祭「なんでもコンテスト」で優勝! ④ 医学部祭オープニング

## 香川大学 医学部ダンス部

皆さんこんにちは。香川大学医学部ダンス部です。

私たちは毎年10月に行われる医学部祭を中心に、学内外のダンスイベントに出演し、部員みんなで楽しく活動しています。

医学部ダンス部にはLock、House、Jazz、Girls、Hip-hopのジャンルがあります。1、2年生の間は好きなジャンルを選べますが、2年生は、医学部祭が開催される頃にメインジャンルを一つ決め、それ以降は選んだジャンルをメインに練習していきます。

私たちダンス部の活動は少し珍しく、週に何回、ではなく一緒に踊るチームのメン

バーで話し合って日程を決めるので、兼部したりバイトと両立する部員もいます。

入部当初は初心者の部員が多いですが、優しい先輩方に教えてもらい、医学部祭の時期には誰が1年生かわからないほどに上達しています。ダンスの魅力にはまり、休日にダンスバトルに参加する部員もいて、それぞれにあったスタイルで活動を楽しんでいます。

おしゃれな衣装に身をつつみ、メイクをして踊るステージはとても楽しいですよ。大学生活の最高の思い出を私たちと一緒に作りましょう。入部お待ちしております。

活動場所・体育館2階、看護棟前

活動時間・チームごと

部員数・44名

Twitter・@KMU\_DanceClub

Instagram・@kmudc.ndnl

連絡方法(連絡先) SNSのDMにて



医学部3年  
仲村 京香  
茨城県 江戸川学園  
取手高等学校

# 香川大生が小学校で拉致問題の啓発授業を実施 人権問題に関する教養を深め子どもたちへ伝え続けていく



私たちが受講した人権教育特別演習は、内閣官房拉致問題対策本部の事業の一環として香川大に依頼があり、集中講義として開講されました。オンラインを通じて、横田めぐみさんの弟である横田拓也さんと、実際に北朝鮮工作員に拉致され2002年に帰国した蓮池薫さんにお話を伺いました。横田さんや蓮池さんのお話から、拉致問題は拉致被害者だけではなく、その家族の人権をも侵害する許されない行為であると認識することができました。昨年の夏には、田口八重子さんの息子であり拉致被害者家族会の飯塚耕一郎さんを香川大にお招きし、座談会を実施しました。家族会の方々が抱えている想いや願いに触れられたと同時に、拉致問題を知らない世代の子どもたちが、拉致問題に対してどのようなことを学び感じてほしいかを聞かせていただきました。この機会を通して、拉致問題に関する教養を深めるとともに、自分たちが学んだことをどのように教材化するかについて考えました。

秋には福井県で帰国者の地村保志さんにお会いして、フィールドワークを実施しました。地村さんからは実際に拉致された場所で、当時

の様子などを聞き取りました。これらの学びについて、子どもたちが拉致問題を身近なものとして捉えることができるか、また拉致問題を通してどのように社会参画の意識を育成することができるかを考え、啓発授業（検証授業）を行いました。

今回の経験を活かし、私たちは附属坂出小学校の5年生に対しての啓発授業（検証授業）で、拉致問題を教材に家族愛という価値について考える道徳の授業をしました。導入や発問、教師の声掛けの工夫をしなければ、子どもたちが拉致問題から家族愛について深く考えることができなため、拉致問題を教材として扱うことの難しさを実感することができました。また、家族がそばにいる日常は当たり前ではないということを実感することができたとともに、子どもたちや生徒にも家族愛について考えてもらう授業づくりへのきっかけになったと考えます。

本事業を通して、北朝鮮による拉致問題は現在進行形の問題であり、早急に解決しなければならぬと強く思いました。中でも蓮池さん

や地村さんのお話からは、拉致により奪われた自由や人並みの幸せは拉致された瞬間から帰国後まで取り戻せない残酷さを実感することができました。拉致問題を早急に解決するために、国民が自分事として拉致問題を考え、小さなことでも自分のできることから行動していかなければならないと思いました。

私たちが将来教師になった時にできることは、拉致問題を子どもたちへ伝え続けていくことだと考えます。そのためには、教師自身が拉致問題への理解を深め学び続ける姿勢が大切です。子どもたちが自分事として拉致問題を捉えることができるように、道徳だけでなく他教科とも連携し、子どもたちが深く考えることができるように取り組んでいきたいです。

教育学部4年 高木 萌菜  
香川県大手前高松高等学校 出身

教育学部4年 岡井 紗也香  
福山市立福山高等学校 出身

教育学部4年 豊嶋 美佐  
香川県立坂出高等学校 出身

教育学部4年 岩崎 あかね  
大分県立玖珠美山高等学校 出身



拉致問題対策本部主催の教員等研修にオンラインで参加し、講演者に質問をしている学生の様子。



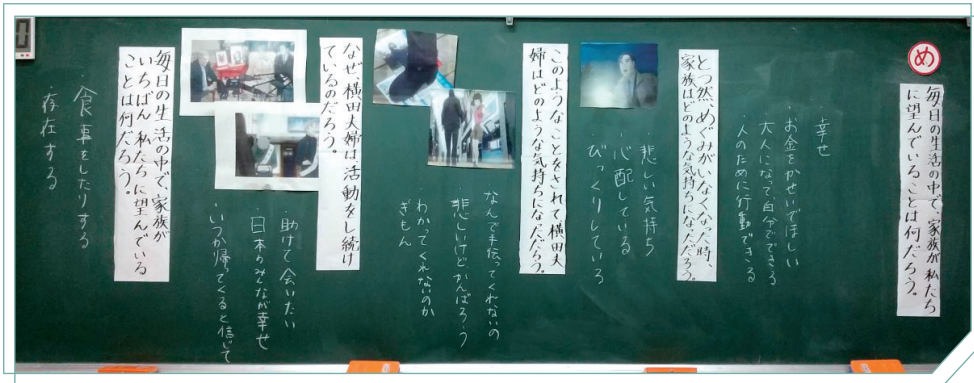
地村さん夫妻が拉致された現場で、実際にどのように拉致されたか、当時の様子を詳しく聞いている様子。



拉致現場を訪れ、青い日本海の向こう側の北朝鮮の方向を眺望しながら福井県警の方の説明を聞いているところ。



オーブスクエアで飯塚耕一郎さんと質疑応答をしている様子。



啓発授業（検証授業）を附属坂出小学校の5年生に対して実施した際の板書の様子。



地村保志さんから直接話を聞いて、香川大生が質問している場面。



啓発授業（検証授業）について協議をしている様子。

# TOPICS

## 造形・メディアデザインコースの学生たちによる受賞報告会 1/11



造形・メディアデザインコースの学生たちの受賞が2022年9月から12月にかけて相次ぎました。

幸町キャンパス研究交流棟にて、学長への報告会が行われ、それぞれの作品を受賞した学生が紹介しました。斬新なアイデア溢れる受賞作品を生き生きと発表して学長の質問に受け答えする姿に、益々期待が高まる報告会となりました。



造形・メディアデザインコースの学生による報告の様子

## 「香川と都市圏の大学連携推進事業 ～かがわBridgeプロジェクト (KBP) シンポジウム」を開催 1/17



香川大学では、都市圏の大学との大学間協定締結により、国内留学制度を活用して、地域の課題解決や活性化に向けた様々な事業を展開してきました。本シンポジウムは、芝浦工業大学・津田塾大学・東京農業大学の各学長をはじめ、池田香川県知事、工代香川県教育委員会教育長をお招きして「明日の日本をデザインする人財の育成」をテーマとして開催し、自治体、県内企業の方々、協定大学の教職員や学生など対面とオンラインで約200名の参加がありました。本シンポジウムを通じて、今後、さらなる本事業の発展に向けて、大学間の連携はもとより、地域の方々とも連携・協力を深めていく必要性を再確認することができました。



シンポジウム終了後の記念撮影

## トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラム地域人材コース 「香川地域活性化グローバル人材育成プログラム」&香川大学 派遣留学プログラムEXPLORE 帰国報告会を開催 1/18



トビタテ!留学JAPAN日本代表プログラムの、派遣留学生による帰国報告会を開催しました。今回、報告を行った学生2名は、コロナ禍により、海外への渡航を1年以上延期せざるを得なかったにも関わらず、海外に飛び立ちたいという強い意志を持ち続け、令和4年度ようやくその「夢」を実現しました。

留学先は英国が1名、ブルネイ・ダルサラーム国が1名であり、留学テーマは観光、社会学、宗教といった自らの興味ある内容でした。それぞれが独自の留学計画に基づいて実践的な活動を行い、そこで得た学びや気づき、留学先での生活、今後の展望等を率直に語りました。報告会参加者からは多くの質問があり、的確に回答する学生たちからは、留学で得た自信と学びを活かし、

香川の地域・社会に貢献していこうという意気込みを感じることができ、派遣留学生の今後益々の活躍が期待できるものとなりました。



法学部3年 木谷修太郎さんの報告の様子

## 広報学生スタッフ企画「カデザイン」

動画コンテンツ「カデザイン」がリニューアルして復活しました。



香川大学のまだ知られていない凄い人を取り上げる企画で、学生スタッフが主体となって取材・編集を行います。

カデザイン Vol.2  
経済学部夜間主コース 塩崎雄己



## あなたのご意見をお聞かせください!

「KADAIGEST」では、本誌に関するアンケートを行っています。ご回答いただいた方の中から抽選で2名様に香川大学オリジナルバッグをプレゼントします。香川大学に関する話題や発信してほしいこと、ご意見など何でもお寄せください。



こちらのQRコードからアンケートにアクセスできます  
※令和5年4月30日締切

